

PECB.ISO-14001-Lead-Auditor.v2026-08-01.q24

試験コード：	ISO-14001-Lead-Auditor
試験名称：	PECB Certified EMS ISO 14001 Lead Auditor Exam
認証ベンダー：	PECB
無料問題の数：	24
バージョン：	v2026-08-01
ページの閲覧量：	104
問題集の閲覧量：	241
https://www.jpnsshiken.com/shiken/PECB.ISO-14001-Lead-Auditor.v2026-08-01.q24.html	

質問: 1

以下の記述は監査方法に関するものです。それぞれの記述を検討し、正しいものを2つ選択してください。

- A. 仮想監査では、証拠は人間とのやり取りを伴う方法によってのみ収集できます。
- B. 仮想第三者監視監査の際、監査人は個人を録画したり、文書のスクリーンショットを撮ったりする前に、被監査者から許可を得る必要があります。
- C. 監査証拠を取得するために使用されるサンプリング方法は、被監査者によって合意されなければならない。
- D. 監査人は、監査中に情報を収集するために、さまざまな監査方法を組み合わせて使用することが期待されます。
- E. 複数日にわたる第2段階の初期認証監査中、監査員は手順書や記録のコピーをレビューのために現場外に持ち出すことが許可されなければならない。
- F. トップマネジメントは組織内で最も上級のメンバーであるため、このグループへのインタビューによって収集された監査証拠は、他の方法による検証を必要としません。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

正解はBとDです。

Bが正解です。なぜなら、リモート監査やバーチャル監査では、監査人は機密保持、情報セキュリティ、プライバシー、被監査者の許可を尊重しなければならないからです。人の録音、スクリーンショットの撮影、文書のキャプチャは、被監査者の許可を得てから行うべきです。これは、機密保持、専門的配慮、情報セキュリティといった監査原則に合致しています。

正解はDです。なぜなら、監査人は信頼できる監査証拠を得るために、複数の監査手法を組み合わせて使用すべきだからです。

監査方法には、インタビュー、活動の観察、文書や記録のレビュー、サンプリング、遠隔通信ツール、現場視察、環境パフォーマンスデータのレビューなどが含まれます。複数の方法を用いることで、証拠の検証が容易になり、監査の信頼性が向上します。

他の選択肢は誤りです。

Aは誤りです。仮想監査の証拠は、人間同士のやり取りに限定されるものではありません。証拠は、文書レビュー、記録、写真、ビデオ、データシステム、監視レポート、許可証、手順書、その他の非対話型情報源からも収集できます。

Cは誤りです。監査サンプリング方法は、監査の目的、範囲、基準、リスク、および入手可能な証拠に基づいて、監査人または監査チームが決定します。被監査者の同意は必要ありませんが、被監査者は関連情報へのアクセスを提供する必要がある場合があります。

Eは誤りです。監査人は、手順書や記録のコピーを社外に持ち出す権利を自動的に有するわけではないからです。

コピーの取得は、機密保持規則、認証機関の手続き、法的制限、および被監査者の許可に依存します。

Fは誤りです。なぜなら、経営幹部へのインタビューから得られた監査証拠は、可能な限り検証する必要があるからです。インタビューの証拠は通常、記録、観察された業務慣行、目標、環境パフォーマンスデータ、コンプライアンス義務、またはその他の監査証拠を用いて裏付けられるべきです。経営幹部という立場は、検証の必要性をなくすものではありません。

したがって、正しい記述はBとDの2つです。

質問: 2

複数階建てのショッピングセンターは、毎日午前9時から午後9時まで一般に開放されています。ISO 14001に基づく外部監査で、常時稼働している自動販売機が40台あることが判明しました。そのうち30台は生鮮食品を販売していません。また、施設内には8基のエスカレーターがあり、一般利用者が利用できる時間帯は常に稼働していることも確認しました。環境パフォーマンス改善目標について尋ねたところ、センターマネージャーは、天窓を増設して自然光を取り入れることで照明コストを削減する計画があるものの、そのための予算はまだ取締役会で承認されていないと回答しました。

あなた :エネルギー消費は、このセンターにおける重要な環境問題の一つであると認識しています。この影響をどのように軽減していますか？

EMSマネージャー：私たちは電力会社とより良い契約条件を交渉することで、エネルギーコストの削減に努めています。再生可能エネルギー源のみから電力を供給する電力会社への切り替えも検討中です。

あなた：全体的な消費量を削減するために、どのような対策を講じてきましたか？

EMSマネージャー：職員向けに意識向上研修を実施しました。例えば、使用していない職員エリアの照明を消すなどです。

あなた :エスカレーターが最もエネルギー消費量が多いようですね。これを削減するための取り組みはありますか？

EMSマネージャー :いいえ、変更するには費用がかかりすぎます。

あなた：電力消費量はどのように測定するのですか？

EMSマネージャー :センターの各階にメーターを設置しています。1時間ごとに計測を行い、スタッフのシフトごとに消費量のグラフを作成しています。

インタビューを続けると、過去5年間でエネルギー消費量が着実に増加していることがわかる。

正しい記述を2つ選択してください。

A. センターマネージャーはエネルギー意識に関する研修を受けています。

B. 組織のエネルギー供給業者は再生可能エネルギーを調達しています。

C. エスカレーターは常時稼働しています。

D. 組織はエネルギー消費に対処するための措置を講じるべきである。

E. センターのスタッフは、スタッフエリアのエネルギー消費に責任を負います。

F. 自動販売機は常時稼働しています。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 3

ある都市に10店舗を展開する塗装店チェーンは、ISO 14001の要件に準拠した環境マネジメントシステム (EMS) を構築し、10年前に第三者機関による認証を取得しました。あなたは第三者監査を実施しています。監査計画には、ゼネラルマネージャーへのインタビューが含まれています。

対話の内容は以下のとおりです。

あなた :こんにちは、こんばんは。私は十分に整備された環境リスク評価プロセスを見てきました。しかし、そのプロセスの結果に緊急事態の特定が含まれていないことに気づきました。環境マネージャーはこの質問に対して納得のいく回答を提供できませんでした。

GM: EMIは2か月前に入社したばかりで、私たちが初めてEMSの認証を受けた時の決定事項については知らないかもしれません。当時、私は10人の監督者全員と面談し、最も恐れている緊急事態は何かと尋ねました。彼らは全員一致で「火災」と答えました。それだけです。私たちが対応すべき緊急事態は火災だけです。私の記憶では、10の店舗すべての監督者が計画をよく理解しているので、計画のテストはあまり頻繁に行っていません。認証機関の監査員もこれを認めています。過去10年間、火災は発生していません。

このシナリオにおいて、ISO 14001への適合性を判断するために、どのような証拠を検討する必要がありますか？6つ選択してください。

A. 過去10年間にこのプランを試験的に導入した店舗

B. 各店舗の監督者が何らかの理由で不在の場合の代替要員

C. 認証機関による監査報告書

D. 監督者10名全員の総合的な能力記録

E. 各店舗における健康と安全に関する標識

F. 経営レビュー報告書

G. 労働者の具体的な消火訓練の記録

H. 消火器の点検結果

正解: ([正解を表示します](#))

正解はA、B、D、F、G、Hです。

このシナリオは主にISO 14001:2015の条項8.2「緊急時への備えと対応」に関連しており、条項7.2「能力」、条項7.3「認識」、および条項9.3「経営陣によるレビュー」によって補完されています。

A) 過去10年間にこのプランをテストした店舗 - 正解

ISO 14001では、計画された緊急時対応措置は、可能な限り定期的にテストされることが求められています。ゼネラルマネージャーは計画のテストがあまり頻繁に行われていないと述べているため、監査員はどの店舗がいつ緊急時対応計画をテストしたかを確認する必要があります。

B) 各店舗の監督者が不在の場合の代替要員 - 正解 総支配人は、10人の監督者が火災緊急時対応計画を理解していることに大きく依存しています。監査担当者は、監督者が不在の場合に何が起こるかを確認する必要があります。緊急対応は、不在、休暇、病気、またはシフト変更に関係なく、効果的でなければなりません。

D) 10名の監督者全員の一般的な能力記録 - 正解

緊急対応の統制を監督者に委ねる場合、監督者の能力は重要な証拠となる。監査人は、監督者が割り当てられた緊急対応関連の責任を遂行する能力を有していることを確認する必要がある。

F). 経営陣によるレビュー報告書 - 正解

経営陣によるレビュー記録には、緊急事態への備え、事案、変更点、資源、試験結果、改善の必要性、および救急医療サービスの有効性についてレビューが行われたかどうかを示される場合があります。これは、緊急事態に関する決定が10年前に行われた可能性があり、それ以降適切にレビューされていない可能性があるため重要です。

G) 作業員の具体的な消火訓練の記録 - 正しい

従業員は、緊急事態への備えと対応に関する適切な認識と訓練を受けていなければなりません。塗装工場では、火災は起こりうる緊急事態であるため、具体的な火災対応訓練の記録は重要な証拠となります。

H) 消火器の点検結果 - 正解

消火器は緊急時対応体制の一部です。点検結果は、緊急用設備が利用可能であり、適切に維持管理され、使用に適していることを確認するのに役立ちます。

選択されなかった2つのオプションは以下のとおりです。

C) 認証機関からの監査報告書 - 選択されていません

過去の認証監査報告書は背景情報を提供する場合がありますが、監査員自身の監査証拠に取って代わるものではありません。今回の監査では、現在の適合性を判断する必要があります。

E) 各店舗における健康と安全に関する標識 - 未選択

安全衛生に関する標識は役立つかもしれないが、問題はISO 14001環境マネジメントシステム（EMS）への適合性と環境緊急事態への備えにある。環境緊急事態への対応に直接結びついていない限り、このEMSの問題を示す最も強力な証拠の一つとは言えない。

質問: 4

ISO 14001:2015の6.1.2項および6.1.4項の要求事項を考慮して、プロセス／タスクを完了するためのアクションを正しい順序に並べ替えてください。

1. Determine environmental impacts

2.

3.

4.

5.

6. Plan actions to be taken

7. Determine how to evaluate the effectiveness of the actions taken

To complete the sequence click on the blank section you want to complete so it is highlighted in red and then click on the applicable text from the options below. Alternatively, drag and drop the options to the appropriate blank section.

Establish criteria to determine the significance of impacts

Determine environmental aspects

Determine which impacts are significant

Determine which aspects are significant

正解:

1. Determine environmental impacts
2. Determine environmental aspects
3. Establish criteria to determine the significance of impacts
4. Determine which impacts are significant
5. Determine which aspects are significant
6. Plan actions to be taken
7. Determine how to evaluate the effectiveness of the actions taken

To complete the sequence click on the blank section you want to complete so it is highlighted in red and then click on the applicable text from the options below. Alternatively, drag and drop the options to the appropriate blank section.

Establish criteria to determine the significance of impacts

Determine environmental aspects

Determine which impacts are significant

Determine which aspects are significant

Explanation:

Question NO: 1

Considering the requirements of clauses 6.1.2 and 6.1.4 of ISO 14001:2015, put the actions in the correct order to complete a process/task.

1. Determine environmental impacts
2. Determine environmental aspects
3. Establish criteria to determine the significance of impacts
4. Determine which aspects are significant
5. Determine which impacts are significant
6. Plan actions to be taken
7. Determine how to evaluate the effectiveness of the actions taken

To complete the sequence click on the blank section you want to complete so it is highlighted in red and then click on the applicable text from the options below. Alternatively, drag and drop the options to the appropriate blank section.

Establish criteria to determine the significance of impacts

Determine environmental aspects

Determine which impacts are significant

Determine which aspects are significant

- 環境面を決定する
- 環境への影響を判断する
- 影響の重要性を判断するための基準を確立する
- どの影響が重要かを判断する
- どの側面が重要かを判断する

取るべき行動を計画する

講じた措置の有効性を評価する方法を決定する

ISO 14001:2015の6.1.2項（環境側面によれば、組織は、自らが管理および影響を与えることができる活動、製品、およびサービスの環境側面、ならびにそれらに関連する環境影響を特定しなければならない。

特定された組織は、以下のことを行うものとする。

確立された重要度評価基準を用いて、環境に重大な影響を与える可能性のある側面を特定する。（参照ISO 14001:2015、6.1.2項）次に、6.1.4項（計画行動に従って、組織は以下を行う必要がある。

重要な環境問題、法的要件、リスク／機会に対処するための行動計画を策定する。

継続的な改善を確実にするために、これらの施策の効果をどのように評価するかを決定する。

この論理的な手順により、環境影響の特定と管理において、構造化されたリスクベースのアプローチが保証されます。

参照 :ISO 14001:2015 - 条項6.1.2および6.1.4

質問: 5

ある組織は、受付エリアに以下の環境方針文書を掲示している。

「この組織は、製造、使用、廃棄に関する環境規制に従い、顧客の要求に応じて電線を供給することに尽力します。組織は、従業員、サプライヤー、下請業者、および利害関係者の環境意識を高めるよう努めます。継続的な環境改善は、組織の恒久的な目標です。この方針は、すべての従業員に伝えられ、必要に応じて説明を求める機会が与えられます。必要に応じて、この方針はすべての利害関係者に伝えられます。」上記の方針声明を参照して、組織が ISO 14001 の要求を満たしている 3 つのオプションを選択してください。

A. 当組織は継続的な環境改善に取り組んでいます。

B. 組織はすべての法的要件を明確に満たしています。

C. 当組織は、環境方針を関係者に公開しています。

D. 組織は顧客の環境要件を満たしています。

E. 組織のプロセスは、意図した環境改善を実現している。

F. この組織は、環境の持続可能性に尽力するサプライヤーを利用しています。

G. この組織は環境保護に取り組んでいます。

H. この組織は廃棄物のリサイクルに関して高い評価を得ています。

正解: A,C,D ([コメントを発表する](#))

質問: 6

監査チームリーダーは、介護施設の最高経営責任者と上級管理職が出席する最終会議で監査結果を発表する。議題は、ISO 14001に準拠した環境マネジメントシステム（EMS）における軽微な不適合件数の少なさを報告することである。会議が進むにつれて、最高経営責任者が次第に動揺していく様子が、監査チームリーダーとチームメンバーには明らかになる。

監査チームのリーダーが監査結果の概要を発表する前に、最高経営責任者が報告を遮り、プロセス全体に欠陥があり、認証機関の選択を誤ったために認証取得に時間を費やしたと怒鳴りつけた。

監査チームリーダーとして、この状況に対応するためにあなたが取るであろう選択肢を1つ選んでください。

A. 会議を終了し、後日改めて再開する予定であることを伝えてください。

B. 会議の休憩を取り、最高経営責任者と別途会合を開き、彼の懸念事項について話し合うことを提案します。

C. 会議を終了して、認証機関の直属の上司と相談できるようにします。

D. 報告書が完成するまで、最高責任者が発言を控えるよう強く要請する。

正解: B ([コメントを発表する](#))

正解はBです。

最終会議において、監査チームリーダーはプロ意識を保ち、冷静かつ公平な立場を維持し、監査プロセスを完全にコントロールしなければなりません。上級管理職が怒りを露わにしたり、監査プロセスに異議を唱えたりした場合、最善の対応策は、事態を沈静化させ、正式な最終会議を中断することなく、その人物に懸念事項を説明する機会を与えることです。

Bが正解です。短い休憩を取り、最高経営責任者と個別に話し合うことで、監査チームリーダーは相手の話を聞き、誤解を解消し、専門的な方法で対立を解決できます。その後、最終会議を円滑に進めることができます。

このアプローチは、ISO 19011監査原則、特に専門的注意、公正な提示、外交的配慮、効果的なコミュニケーションといった、優れた監査実務に合致しています。監査結果に関する意見の相違は議論し、可能な限り解決する必要があります。解決できない場合は、記録に残すべきです。

他の選択肢は最善の対応策とは言えません。

Aはあまりにも唐突すぎる。なぜなら、会議を終了させることなく、冷静な話し合いによって問題を解決できる可能性があるからだ。

この段階ではCは不要です。なぜなら、監査チームリーダーはまず状況を専門的に管理するよう努めるべきだからです。

Dは対立的な印象を与え、最高経営責任者の懸念事項に対処していないため、対立を激化させる可能性がある。

したがって、最善の策はBです。会議を一時中断し、最高経営責任者と個別に面談して懸念事項について話し合うことを提案します。

質問: 7

ある石油会社は、複数の小川が流れる土地に天然ガス処理工場を所有している。ある日、48時間にわたる豪雨の後、それらの川のいくつかが氾濫し、工場の水処理施設が浸水した。油で汚染された水は、近隣の人口の少ない地域にまで流れ込んだ。

その後まもなく、不適合とみなされたこの事象を詳細に分析するため、内部監査が実施された。過去200年間で、これほどの大雨の記録はなかった。

以下の行動のうち、どれが「修正」に該当しますか？（3選択）

- A. 浄水場に追加の保護対策を施す
- B. 被災者に対し、工場から遠く離れた場所に新築住宅を建設するための融資を提供する。
- C. 被災地の清掃
- D. 浄水場を低地に移設する
- E. 既存の緊急時対応計画を改訂する
- F. 被災者の家を清掃する
- G. 汚染された土地を処理施設へ送る
- H. 河岸をセメントで補強する

正解: [\(正解を表示します\)](#)

質問: 8

ISO 14001:2015の要求事項を満たすマネジメントシステムは、計画・実行・評価・改善（PDCA）サイクルに基づいています。

PDCAサイクルの「チェック」段階に含まれるマネジメントシステムの要素は、次のうちどれとどれですか？

- A. 経営レビュー
- B. 改善
- C. 不適合
- D. パフォーマンスのモニタリング
- E. プロセスの制御
- F. 環境政策

正解: **C,D** [\(コメントを発表する\)](#)

質問: 9

あなたは、ビタミン剤やその他の医薬品を製造する製薬会社であるVitalSparkのステージ2認証監査を実施しています。同社の広大な敷地の中央にある別のエリアでは、あるサプライヤーがVitalSparkの製造工程に直接供給される酸素を製造しています。また、そのサプライヤーは他の顧客にもバルクタンクで酸素を供給しています。環境側面登録簿を確認すると、この取り決めに関して記録されている唯一の環境側面は、サプライヤーの大型貨物車両が敷地内を通過することに関するものであることがわかりました。

あなたはEMSマネージャーに、この取り決めがVitalSparkに及ぼす環境への影響について尋ねたところ、供給業者は水、下水、廃棄物、エネルギーに関する独自のサービスを提供しているため、大きな影響はないと告げられた。

EMSマネージャーは、VitalSparkサイト内にあり、EMSの適用範囲外にあるサプライヤーと連絡を取ろうと試みましたが、うまくいかなかった。

ISO 14001の6.1.2項に違反する不適合を指摘します。

「VitalSparkは、酸素供給業者の活動、製品、サービスに関連する側面／影響に関する文書化された情報を保持していません。」VitalSparkが提案する以下の措置のうち、どの2つの組み合わせで不適合を解消できますか？

A. 酸素供給業者には、その製造工程に関する包括的な環境調査を実施するよう求められます。

B. VitalSparkは、酸素供給業者が環境意識に関する研修を受けることを提案します。

C. VitalSparkは、酸素供給業者の組織に対する監査を含めるように監査プログラムを拡大します。

D. 酸素供給業者には、次の期間内にISO 14001マネジメントシステムを導入するよう要請します。

3ヶ月。

E. VitalSparkは、酸素供給業者に関連する側面/影響に関する文書化された情報を更新します。

F. VitalSparkは、現場のサプライヤーから環境データを毎月取得します。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 10

Sparkleは、顧客の敷地内で移動式洗車サービスを提供する企業です。同社は以前からISO 14001の認証を取得しており、専任の環境マネジメントシステムマネージャーを任命しています。サーベイランス監査における監査計画には継続的改善が含まれており、監査員は最新の経営陣レビュー会議議事録の提示を求めています。

議事録によると、環境マネジメントシステムマネージャーは、組織の環境法規制登録簿の最終見直しが、環境マネジメントシステムで計画されていた年次見直しではなく、3年前に行われたと報告した。当時、彼は登録簿を更新するために法規制専門家を雇用するための予算を要求したが、法規制に大きな変更はなかったらという理由で、経営陣から却下された。議事録には、関連する改善策は記録されていない。

提示されたシナリオに基づき、そのような不適合を指摘する根拠を最もよく表している2つの選択肢を選んでください。

A. 環境パフォーマンスを測定するプロセスが効果的かどうかを評価する。

B. 監査計画を5店舗に拡大する。

C. 有害な排出物を削減するための改善機会（OI）を提起する。

D. 大気汚染のため、5店舗の従業員は健康診断を受けることを推奨します。

E. 地方自治体に、組織がVOC排出量を超過していることが通知されているかどうかを確認する。

F. 組織は、計画された頻度でのレビューに従って、法令登録簿を更新しなかった。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 11

あなたは、大都市の公共交通機関であるABC社のISO 14001の2回目の再認証審査において、監査チームリーダーに指名されました。監査は2か月後に実施される予定です。

監査プログラムマネージャーは、8か月前に実施された前回のサーベイランス監査において、別の監査員が指摘した不適合事項に対するABC社の回答をレビューするようあなたに依頼しました。

不適合事項は以下のとおりです。

* ABCは、関連する環境要件を外部の供給業者に常に伝達しているわけではありません。」

証拠 ABCのバスのメンテナンスを委託する新しい外部業者と締結した2か月の契約には、関連する環境要件が一切含まれていなかった。* ABCが取るべき最善の是正措置として、次のうちどれが2つ考えられますか？

A. 関連する環境要件を追加するために契約を改訂しました。

B. 調達プロセスを見直しました。

C. 外部プロバイダーの活動に関連する環境面を特定しました。

D. 次回の経営会議でこの問題について話し合います。

E. EMSに、この問題を次回の内部監査に含めるよう依頼しました。

F. ISO 14001の要求事項について、調達担当者への再研修を実施しました。

正解: ([正解を表示します](#))

正解はAとBです。

この不適合事項は、ABC社が関連する環境要件を外部委託業者に伝達しなかったことに関するものです。これは主にISO 14001:2015の第8.1項「運用計画及び管理」に該当し、組織はアウトソーシングされたプロセスが管理または影響を受け、関連する環境要件が外部委託業者に伝達されることを確保しなければなりません。

A) 関連する環境要件を追加するために契約を改訂しました - 正しい これは即時の修正です。不適合の原因となった特定の契約が修正され、保守サービス提供者が関連する環境要件を受け取るようになりました。

B) 調達プロセスを見直しました - 正解

これはより強力な体系的な是正措置です。調達プロセスを見直すことで、外部業者の承認や作業開始前に、将来の契約や購入契約に適切な環境要件が含まれるようにし、再発防止に役立ちます。

その他の選択肢はあまり適切ではない。

C) 言語は有用な背景作業となるかもしれないが、要件伝達の失敗を直接的に是正するものではない。

D) はあくまで今後の議論事項であり、完了した是正措置ではありません。

E) は後々有効性を検証するのに役立つかもしれないが、それ自体が是正措置ではない。

F) は実施を支援するかもしれないが、研修だけでは、見落としを招いたプロセスを変更するよりも効果が弱い。

したがって、最適な是正措置はAとBである。

質問: 12

自動車産業向けアルミニウム製品メーカーの内部監査員が、最新の経営陣レビュー議事録の閲覧を求めたところ、現在の環境目標の一部が達成されたことに関する記述が見当たらなかった。監査員は、報告書IA2021において、ISO 14001の9.3.c項に違反する不適合を指摘した。不適合 (NC3)の内容は以下のとおりである。

経営陣は、前回の経営レビュー以降、環境目標の一部が達成された理由を分析していない。」監査担当者が環境マネージャーとこの調査結果について話し合ったところ、現在の環境目標を達成するために計画された措置は内部監査プログラムに具体的に記載されているため、これ以上の作業は不要であるとの説明を受けた。

環境管理者が不適合に対して効果的に対応できると思われる選択肢を1つ選んでください。

A. 内部監査員を対象とした、環境目標の設定と評価に関する研修プログラムを開始する。

B. 不適合品を拒否する。目標は1年以内に達成する必要はない。目標達成のための計画は、内部監査プログラムを実施する際に策定され、見直される。

C. 未達成の環境目標を修正し、12ヶ月以内に達成可能なものにする。

D. 来年度の内部監査プログラムにおいて、特にすべての環境目標の達成を網羅するために、追加の内部監査を計画する。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 13

以下の監査結果のうち、被監査者が対応する必要のないものはどれですか？

- A.** 改善の機会。
- B.** 適合性。
- C.** 監査証拠に関する意見の相違。
- D.** 不適合。

正解: ([正解を表示します](#))

ISO 19011:2018の3.11項（監査結果および6.4.10項によると、監査結果は、適合、不適合、または改善の機会のいずれかである。適合とは、要求事項が満たされていることを確認するだけであり、被監査者によるそれ以上の措置は必要ありません。不適合には是正措置が必要である。改善の機会自主的な行動を促す可能性はあるが、強制的な対応を促すものではない。意見の相違は監査中に処理されますが、不適合に関連しない限り、監査後の対応は必要ありません。

参照 :ISO 19011:2018 条項 3.11、6.4.10 ;ISO 14001 主任審査員ガイド - 監査結果。

質問: 14

監査チームリーダーが、避難階段を製造する鉄骨加工会社にステージ2認証監査を実施するために到着しました。EMSマネージャーとの会議で、建設会社から避難階段の製造と設置に関する過去最大の契約を獲得したことを知らされました。設置作業は下請け業者に委託されました。EMSマネージャーは、ISO 14001監査を設置現場まで拡大することを希望し、以下のEMSポリシーに沿って下請け業者に環境目標を設定しました。

組織の方針として、常に責任ある行動を取り、関連法規を遵守し、環境パフォーマンスを向上させる目標を設定することにより、環境を保護することとしています。」監査人は、下請け業者の従業員が経営陣によって定められた環境方針を認識しているかどうかの証拠を求めている。

以下の選択肢から、下請け業者の全従業員が組織の環境方針に関して認識しておくべき事項を2つ選択してください。

- A. 法的要件の遵守
- B. EMSの継続的な改善
- C. 顧客からの苦情への対応
- D. 環境保護への取り組み
- E. 労働組合とのコミュニケーション
- F. 環境リスク評価の実施

正解: [\(正解を表示します\)](#)

正解はAとDです。

この質問は主にISO 14001:2015の7.3項 意識」および5.2項 環境方針」に関連しています。

組織の管理下で業務を行う者（該当する場合は下請け業者の従業員を含む）は、組織の環境方針を認識しておく必要があります。このシナリオでは、環境方針には特に以下の2つの明確なコミットメントが含まれています。

A) 法的要件の遵守 - 正解

この方針では、組織は 関連法規を遵守する」と明記されています。したがって、下請け業者の従業員は、自らの業務が適用される法的要件および環境要件を遵守しなければならないことを認識しておく必要があります。

これは特に重要です。なぜなら、設置作業には、塗料、廃棄物、排出物、流出リスク、排水管理、および現場の環境規則が関係する可能性があるからです。

D) 環境保護への取り組み - 正解

この方針では、組織は 常に責任ある行動をとることで環境を保護する」と明記されています。したがって、下請け業者の従業員は、設置作業を行う際に環境を保護する責任があることを理解する必要があります。

他の選択肢は最善の答えではありません。

B) EMSの継続的な改善 - この文脈では不適切

継続的改善は一般的にISO 14001のポリシー要件ですが、質問に示されているポリシーの文言は、環境保護、法令遵守、および環境パフォーマンス向上のための目標設定に焦点を当てています。これは、提示されたポリシーの文言に直接記載されている2つの最も明確な課題の1つではありません。

C) 顧客からの苦情への対応 - 偽

顧客からの苦情は、業績評価や是正措置に関連する可能性があるが、環境方針において明示的に約束されている事項ではない。

E) 労働組合とのコミュニケーション - 不正解

これは、このシナリオにおける環境政策に関する認識要件ではありません。

F) 環境リスク評価の実施 - 不正解

リスク評価はEMS計画の一部となる可能性があるが、この質問は、下請け業者の担当者が環境方針に関して何に留意すべきかを問うものであり、彼らが実施しなければならない技術的なEMS活動を問うものではない。

したがって、正解はA. 法的要件の遵守とD. 環境保護への取り組みの2つです。

質問: 15

インド市場に消防設備を提供しているABC社のISO 14001環境マネジメントシステムの第三者監査のための監査計画を作成する必要があります。ABC社の本社はニューデリーにあり、消防設備の製造はバングラデシュにあるFIREF社に委託されています。

アウトソーシングされている業務には、設計、製造、物流、調達が含まれる。ニューデリーの本社にはABC社の従業員が6名いるが、FIREF社のバングラデシュ工場には従業員は一人もいない。

ISO 14001:2015で要求されている文書情報のうち、ABC社の環境マネジメントシステム (EMS) の監査において、アウトソーシングされたプロセスに関して確認する必要があるものはどれですか？2つ選択してください。

A. FIREFの環境方針

- B. ABCの環境マニュアル
- C. ABCとFIREF間の契約合意書
- D. FIREFが実施した内部監査報告書
- E. FIREFにおけるABC監査報告書
- F. FIREFの経営陣レビューに関するレポート

正解: [\(正解を表示します\)](#)

正解はCとEです。

ISO 14001:2015では、組織はアウトソーシングされたプロセスが管理または影響を受けることを保証することが求められています。

この場合、ABCは設計、製造、物流、調達など、主要な業務をFIREFにアウトソーシングしています。FIREFが業務を遂行するものの、関連するEMS要件が満たされていることを確認する責任はABCにあります。

C) ABCとFIREF間の契約合意 - 正解

この契約書は、ABC社が環境要件をFIREF社にどのように伝達し、アウトソーシングされたプロセスに対する管理または影響力をどのように規定しているかを示す重要な文書証拠です。これには、環境管理、法令遵守に関する期待事項、報告要件、緊急時対応、廃棄物処理、調達要件、および監視義務などが含まれる場合があります。

E) FIREFにおけるABC監査の報告 - 正解

ABCによるFIREFに対する監査報告書は、ABCがアウトソーシングされたプロセスが計画通りに管理されているかどうかを確認していることを示す証拠となる。これらの報告書は、ABCがFIREFの環境パフォーマンス、運用管理、合意された環境要件への準拠、および必要に応じた是正措置を評価したかどうかを確認するのに役立つ。

他の選択肢は最善の答えではありません。

A) FIREFの環境方針 -.偽

FIREFの環境方針は有用な背景情報となるかもしれないが、ABCのISO 14001環境マネジメントシステム (EMS)において必須の文書情報ではない。

B) ABC社の環境マニュアル -.偽

ISO 14001:2015では、環境マニュアルの作成は義務付けられていません。

D) FIREFが実施した内部監査の報告書 -.偽

FIREF自身の内部監査報告書が入手可能であれば役立つかもしれないが、それらはFIREFのEMS記録であり、ABCのEMSに必要な文書化された情報ではない。

F) FIREFの経営陣レビューに関する報告 -.偽

FIREFの経営陣によるレビュー記録はFIREFの管理システムに属するものであり、ABCのEMS監査に必要な記録ではありません。

したがって、ABCがアウトソーシングされたプロセスに対して支配または影響力を持っていることを検証するために最も直接的に必要なとされる2つの文書は、C. ABCとFIREF間の契約合意書とE. FIREFに対するABCの監査報告書です。

質問: 16

監査の重要なプロセスの一つは、監査人が情報を収集し、調査結果の特徴を判断する方法です。このプロセスを完了するために、手順を正しい順序に並べ替えてください。

Actions

1. Determine source of information
2. Collect by means of appropriate sampling
3.
4.
5.
6.
7. Audit conclusions

To complete the sequence click on the blank section you want to complete so it is highlighted in red and then click on the applicable text from the options below. Alternatively, you may drag and drop the options to the appropriate blank section.

Evaluate against audit criteria

Audit evidence

Review

Audit findings

正解:

Actions

- 1. Determine source of information
- 2. Collect by means of appropriate sampling
- 3.
- 4.
- 5.
- 6.
- 7. Audit conclusions

To complete the sequence click on the blank section you want to complete so it is highlighted in red and then click on the applicable text from the options below. Alternatively, you may drag and drop the options to the appropriate blank section.

Explanation:
コンピューターAIが生成したコンテンツのスクリーンショットは、正確でない場合があります。

Actions

- 1. Determine source of information
- 2. Collect by means of appropriate sampling
- 3.

Audit evidence
- 4.

Evaluate against audit criteria
- 5.

Audit findings
- 6.

Review
- 7. Audit conclusions

To complete the sequence click on the blank section you want to complete so it is highlighted in red and then click on the applicable text from the options below. Alternatively, you may drag and drop the options to the appropriate blank section.

Evaluate against audit criteria

Audit evidence

Review

Audit findings

この手順は、監査人が ISO 14001:2015 と併用して使用する ISO 19011:2018 - マネジメントシステムの監査に関するガイドラインから派生したものです。具体的には、監査プロセス中のステップは、
監査の実施」段階には以下が含まれます。

情報源の特定（条項.4.5）：文書インタビュー、記録、観察を含む。

サンプリングによるデータ収集（条項.4.6）サンプリングは、リソースを効果的に管理し、関連する証拠を収集するのに役立ちます。

監査証拠の収集（条項.8）：監査証拠は、調査結果を裏付けるために収集および検証されたデータのことです。

監査基準に対する評価（条項.9）：証拠ISOなどの規格に照らして評価されなければならない。

14001の要件、社内規定など

監査結果の作成（条項.4.9）：適合不適合、および改善の機会に関する結論。

調査結果のレビュー（条項.4.10）：結果確定する前に相互検証と妥当性確認を行う。

監査結論（条項.4.11）：監査結果に基づき、監査を要約した最終報告書。

この体系的なプロセスにより、監査が公平に実施され、検証可能で証拠に基づいた結果が得られ、継続的な改善に貢献することが保証されます。

参照：

ISO 19011:2018、6.4.5項から6.4.11項

ISO 14001:2015、9.2項 - 内部監査の要求事項

有効的な**ISO-14001-Lead-Auditor**問題集はJPNTest.com提供され、**ISO-14001-Lead-Auditor**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**ISO-14001-Lead-Auditor**試験問題集を提供します。JPNTest.com ISO-14001-Lead-Auditor試験問題集はもう更新されました。ここで**ISO-14001-Lead-Auditor**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/ISO-14001-Lead-Auditor-mondaishu>

68問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 17

あなたは認証機関に勤務しています。2か月後、パンデミック対策用のワクチンを製造する製薬会社ABCの監査を主導しなければなりません。監査チームを編成する際、あなたは認証機関の監査員の中から、生化学と薬学の専門資格を持つ人物を1名選びました。

しかし、彼女は適用されるすべての法的要件を完全に理解していません。そこで、認証機関が監査チームを支援するためにコンプライアンス専門家を雇用することを推奨します。ISO 14001:2015のどの2つの条項において、監査員は専門家の支援を必要とする可能性があると考えられますか？

A. 5.2 環境政策

B. 7.1 リソース

C. 5.1 リーダーシップ

D. 4.2 関係者のニーズと期待を理解する

E. 9.2 内部監査

F. 9.1.2 法令遵守義務

正解: ([正解を表示します](#))

ISO 14001:2015によると：

条項4.2：

組織は、規制機関や適用される法的要件を含む利害関係者のニーズと期待を理解する必要があります。これを十分に評価するには、法律の専門知識が必要となる場合があります。

条項9.1.2：

組織は法令遵守義務を評価する必要がある、そのためには適用される法的要件を理解することが不可欠である。

法令遵守の評価には、特に医薬品のような高度に規制された分野においては、専門的な法律知識や規制知識が必要となることが多い。

参照 :ISO 14001:2015 条項4.2および9.1.2。

質問: 18

監査報告書における以下の結論のうち、認証機関が認証付与を決定する際に必要としないものはどれですか？

- A. 軽微な不適合に関する是正措置計画が承認されました。
- B. 認証範囲は満たされています。
- C. 組織が重大な不適合に関して講じた是正措置は承認されました。
- D. 組織は、環境マネジメントシステムに適用されるすべての法的要件およびその他の要件を完全に遵守しています。

正解: D (コメントを発表する)

ISO/IEC 17021-1:2015 9.4.5項および9.5.1項によれば、次のとおりです。

認証の決定は以下に基づいて行われます。

監査結果、

軽微な不適合に対する是正措置計画の承認 (A)、

重大な不適合に対する修正の承認 (C)、

範囲が満たされていることの確認 (B)。

完全な法的遵守 (D)は認証決定の要件ではなく、むしろ、遵守義務を満たすための管理システムの有効性が評価されます。

参照: ISO/IEC 17021-1:2015 条項 9.4.5 および 9.5.1; ISO 14001:2015 条項 9.1.2。

質問: 19

以下のフレーズのうち、監査基準」に当てはまるものはどれですか？（2選択可）

- A. 経営方針
- B. 財務目標
- C. 不適合報告書
- D. 監査結果
- E. 監査人の能力
- F. ISO 14001の要求事項

正解: A,F (コメントを発表する)

ISO 19011:2018 3.3項（用語及び定義）によれば、以下のとおりです。

監査基準は次のように定義されます。

客観的な証拠と比較するための基準として使用される、一連の方針、手順、または要件。」ISO 14001の要求事項 (F)と組織独自の管理方針 (A)は、有効な監査基準です。

不適合報告書 (C)および監査結論 (D)は監査の成果物であり、基準ではありません。

財務目標 (B)および監査人の能力 (E)は、監査基準としては使用されません。

参照 :ISO 19011:2018 条項 3.3、ISO 14001:2015 条項 5.2。

質問: 20

Whistlekleenは、50店舗を展開する全国的なドライクリーニングおよびランドリー企業です。本社でEMS監視監査を実施し、環境パフォーマンス測定のスAMPLINGを行っています。その結果、パフォーマンス基準を満たせなかった事例の80%は、同じ地域にある5つの店舗で発生しています。これらの事例のほとんどは、規制値を超える揮発性有機化合物 (VOC)の放出に関連しています。環境マネージャーによると、これらの店舗は組織内で最も古い店舗であり、清掃機器の交換が必要だが、組織には現在その費用を捻出する余裕がないとのこと。

上級管理職にこの件を提起すると、今後5年間でこれらの店舗の設備を交換する計画があると告げられる。

提示された情報に対する適切な対応方法に当てはまる選択肢を2つ選んでください。

- A. 有害物質の排出量を削減するための改善機会（OI）を創出する
- B. 機器交換期間が長すぎるため、環境への負荷が大きすぎると批判する
- C. 大気汚染のため、5店舗の従業員全員に健康診断を受けることを推奨します。
- D. 環境パフォーマンス測定プロセスが効果的かどうかを評価する
- E. 地方自治体に、当該組織がVOC排出量を超過していることが通知されているかどうかを確認する。
- F. 監査計画を5店舗に拡大する

正解: [\(正解を表示します\)](#)

質問: 21

認証機関の監査プログラムを管理する担当者との話し合いの中で、クライアント組織のEMSマネージャーは、旅費を節約するため、監査期間中は監査員を1名のみにするよう依頼した。

監査プログラムを管理する担当者は、以下の回答のうち、どの組み合わせを選択すべきでしょうか？

2つ選択してください。

- A. 監査チームの構成は認証機関の決定事項であることをお伝えします。
- B. EMSマネージャーに、彼の要望は今後の監査で検討される可能性があることを伝える。
- C. EMSマネージャーに別の認証機関を選択するよう提案します。
- D. 契約は既に締結済みであり、変更できないことを通知します。
- E. 認証機関の経営陣にこの要望を検討するよう依頼することを提案します。
- F. 現地監査の代わりにリモート監査を実施できることを助言する。

正解: [\(正解を表示します\)](#)

正解はAとEです。

A) 監査チームの構成は認証機関の決定事項であると助言する - 正解 認証監査の場合、監査チームの構成を決定するのは認証機関の責任です。

これには、監査員の人数、必要な能力、監査期間、専門知識、公平性、および監査範囲全体を網羅する能力の決定が含まれます。クライアントは希望を表明したり懸念事項を提起したりすることはできますが、コスト削減のためだけに監査チームの構成を指示することはできません。

E) 認証機関の経営陣にリクエストを検討するよう提案する - 正解 リクエストは、適切な認証機関の経営陣に渡され、検討される可能性があります。認証機関は、監査期間、能力、公平性、監査範囲の網羅性、または認証要件を損なうことなくリクエストが可能かどうかを検討することができます。ただし、いかなる変更も認証機関の管理下に置かれなければなりません。

その他の選択肢は適切ではありません。

B) EMSマネージャーに対し、彼の要求は今後の監査で検討される可能性があることを伝える - 誤り。これは、現在の要求に適切に対処するのではなく、回避するものです。認証機関は、要求を今すぐ検討することはできますが、それは独自の適切な審査プロセスを通じてのみ可能です。

C) EMSマネージャーに別の認証機関を選ぶよう提案する - 誤り。これは非専門的で不必要です。正しいアプローチは、認証機関の責任を説明し、要求を適切に検討することです。

D) 契約書は既に署名済みで、変更できないと伝える - 誤り 署名済みの契約書は、変更を自動的に禁止するものではありません。監査の完全性が維持されている限り、認証機関による審査と承認があれば、変更は可能です。

F) 現地監査の代わりに遠隔監査を実施できると助言する - 誤り 遠隔監査は、単に旅費を削減するためだけに代替できるものではありません。遠隔監査方法の使用は正当化される必要があり、認証機関が監査目的を達成できるものでなければなりません。多くの認証監査活動、特に運用管理と現場状況を検証する必要がある場合は、現地評価が必要となる場合があります。

したがって、最適な回答はAとEです。

質問: 22

ISO 14001のセカンドパーティ監査に参加しないのは、次のうちどれとどれですか？

- A. 外部コンサルティング組織に雇用されている監査人
- B. 監査認証機関によって認定された監査員
- C. 顧客からの監査担当者

D. 認証機関の監査員

E. CQIおよびIRCAスキームの研修を受けた監査員

F. 認定機関の監査員

正解: [\(正解を表示します\)](#)

正解はDとFです。

第三者監査とは、顧客がサプライヤーを監査するなど、被監査対象に利害関係を持つ組織、またはその顧客に代わって行動する別の組織によって実施される外部監査のことです。

したがって：

C) 顧客側の監査人が参加する

これは、第三者監査の最も明確な例である。

A) 外部のコンサルティング組織に雇用されている監査人が参加する可能性がある。コンサルティング監査人は顧客または利害関係者に代わって監査を実施できるため、これは依然として第三者監査となる可能性がある。

B) 監査人認証機関によって認定された監査人は参加できます。監査人認証は能力の資格であり、監査が第一者監査、第三者監査、または第三者監査であるかを決定するものではありません。

E) CQIおよびIRCAスキームの研修を受けた監査員が参加できます。

研修や資格は監査の種類を規定するものではありません。顧客または利害関係者の代理として監査を行う場合、そのような監査人は第三者監査に参加する可能性があります。

D) 認証機関の監査員は、第三者監査には参加しません。認証機関の監査員は、ISO 14001 認証監査などの第三者監査を実施します。

F) 認定機関の監査員は、第三者監査には参加しません。認定機関の監査員は、顧客関連の第三者監査の一環として、認証機関を評価し、サプライヤーや組織を評価しません。

したがって、ISO 14001の第三者監査に参加しない2つの役割は、D. 認証機関の監査員とF. 認定機関の監査員です。

質問: **23**

大手化学企業であるクラッカープロ社は、畜産農場に囲まれた田園地帯に工場を構えている。

1日に4～5回複数の容器を洗浄すると、強い酸っぱい臭いの水蒸気が発生し、

1回につき10分。

あなたは工場で第2段階の初期認証監査を実施しています。環境監督者とともに影響評価と環境側面特定に関するプロセスを監査したところ、酸性蒸気の排出が重要な側面として評価されていないことが判明しました。さらに監査を

進める中で、近隣の農家が過去6か月間、酸性臭について繰り返し苦情を申し立てており、その結果、家畜の病気が増加していると報告していることが分かりました。

環境監督官は、農家側が会社に金銭的な補償を求めているが、農家側の弁護士がそれに抵抗していると述べている。彼女は、法的要件は一切違反されておらず、すべての苦情は却下されたと主張している。

ISO 14001に対する不適合を報告しました。この状況に基づいて、許容可能な不適合となる選択肢を1つ選んでください。

A. 7.4.3 - CrackerPROは、化学洗浄作業によって発生する酸性蒸気の放出について、近隣の農家に情報伝達を怠った。

B. 6.1.2 - 関係者から酸性蒸気排出による深刻な影響が報告されたにもかかわらず、組織は酸性蒸気排出の重要な側面を考慮しなかった決定を見直しませんでした。

C. 4.2.c - 近隣農家のニーズと期待が、環境管理システムの遵守義務として組み込まれていない。

D. 6.1.3 - CrackerPROは、近隣農場への環境影響に関するコンプライアンス義務を履行しませんでした。

正解: **B** ([コメントを発表する](#))

正解はBです。

このシナリオは、ISO 14001:2015の6.1.2項「環境側面」に最も直接的に関連しています。組織は、自らが管理または影響を与えることができる活動、製品、サービスの環境側面を特定し、重大な環境影響を及ぼしている、または及ぼす可能性のあるものを特定する必要があります。

酸性蒸気の放出は1日に4～5回発生し、強い酸性臭を放ち、近隣の農家から家畜への影響を訴える苦情が繰り返し寄せられている。これは、当該組織が排出物が重大な環境問題であるかどうかを検討すべきであったことを示す強力な監査証拠である。単に苦情を却下したり、法的要件に違反していないと主張したりするだけでは、環境面とその潜在的な影響を評価する必要性はなくなるわけではない。

Bが正解である理由：

CrackerPROは、苦情や関係者からの報告された影響によって新たな証拠が得られたにもかかわらず、酸性蒸気排出の重要性を適切に検討しなかった。これは、条項6.1.2に対する不適合を裏付けるものである。

他の選択肢が最良の答えではない理由：

A) 条項 7.4.3 - 外部コミュニケーションは最も強い指摘事項ではありません。なぜなら、主な失敗は単に農家とのコミュニケーションではなく、環境面を適切に評価できなかったことにあるからです。

C) 条項4.2.c - 利害関係者と遵守義務は正しくありません。農家のニーズと期待が自動的に遵守義務になるわけではないからです。組織は、どのニーズと期待が遵守義務になるかを判断しなければなりません。

D) 条項 6.1.3 - コンプライアンス義務は、シナリオでは法的要件が破られていないと述べられており、満たされなかった特定のコンプライアンス義務の明確な証拠がないため、支持されません。

したがって、許容される不適合はB - 条項6.1.2です。

質問: **24**

複数階建てのショッピングセンターは、毎日午前9時から午後9時まで一般に開放されています。ISO 14001に基づく外部監査で、常時稼働している自動販売機が40台あることが判明しました。そのうち30台は生鮮食品を販売していません。また、施設内には8基のエスカレーターがあり、一般利用者が利用できる時間帯は常に稼働していることも確認しました。環境パフォーマンス改善目標について尋ねたところ、センターマネージャーは、天窓を増設して自然光を取り入れることで照明コストを削減する計画があるものの、そのための予算はまだ取締役会で承認されていないと回答しました。

あなた :エネルギー消費は、このセンターにおける重要な環境問題の一つであると認識しています。この影響をどのように軽減していますか？

EMSマネージャー :私たちは電力会社とより良い契約条件を交渉することで、エネルギーコストの削減に努めています。再生可能エネルギー源のみから電力を供給する電力会社への切り替えも検討中です。

あなた : 全体的な消費量を削減するために、どのような対策を講じてきましたか？

EMSマネージャー : 職員向けに意識向上研修を実施しました。例えば、使用していない職員エリアの照明を消すなどです。

あなた : エスカレーターが最もエネルギー消費量が多いようですね。これを削減するための取り組みはありますか？

EMSマネージャー : いいえ、変更するには費用がかかりすぎます。

あなた : 電力消費量はどのように測定するのですか？

EMSマネージャー : センターの各階にメーターを設置しています。1時間ごとに計測を行い、スタッフのシフトごとに消費量のグラフを作成しています。

インタビューを続けると、過去5年間でエネルギー消費量が着実に増加していることがわかる。

正しい記述を2つ選択してください。

A. 自動販売機は常時稼働しています。

B. エスカレーターは常時稼働しています。

C. センターマネージャーはエネルギー意識に関する研修を受けています。

D. 組織はエネルギー消費に対処するための措置を講じるべきである。

E. 組織のエネルギー供給業者は再生可能エネルギーを調達しています。

F. センターのスタッフは、スタッフエリアのエネルギー消費に責任を負います。

正解: **A,D** ([コメントを発表する](#))

有効的な**ISO-14001-Lead-Auditor**問題集はJPNTest.com提供され、**ISO-14001-Lead-Auditor**試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新**ISO-14001-Lead-Auditor**試験問題集を提供します。JPNTest.com ISO-14001-Lead-Auditor試験問題集はもう更新されました。ここで**ISO-14001-Lead-Auditor**問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、<https://www.jpntest.com/shiken/ISO-14001-Lead-Auditor-mondaishu>

68問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」